（１１）　たまねぎ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
1 苗立枯病 *Rhizoctonia solani* *Pythium* sp.	1.苗床で播種覆土後は稲切わらを使用せず、くん炭を使用する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.消毒方法はⅢ－14. 土壌病害虫の防除の項参照。 2.キルパーは苗立枯病（リゾクトニア菌）に登録がある。	土壌消毒	－ － －	キルパー バスアミド微粒剤 ガスター ド微粒剤
		発病初期	M4	オーソサイド水和剤８０
2 乾腐病 *Fusarium* *oxysporum* f.sp.*cepae* *F.proliferatum* var. *minus* *F.solani*	1.無病地を選ぶ。 2.苗床の除草、間引きなどの作業をていねいに行い、苗に傷を付けないようにする。 3.発病株（収穫物を含む）は土中深く埋める。 4.つり小屋の通風を良好にする。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.播種期にタネバエを、植付期にネダニを防除する。	定植または移植直前	1 3 29	ベンレート水和剤 トリフミン水和剤 フロンサイドＳＣ
		定植前	1 3	ベンレート水和剤 トリフミン水和剤
3 べと病 *Peronospora* *destructor*	1.べと病の越年罹病株を３月中に抜き取る。 2.発生圃地での育苗を避ける。 3.発生圃地での連作を避ける。 4.排水を良好にする。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.３月上旬ごろから、予防的に散布する。	土壌消毒	－	バスアミド微粒剤
		苗床及び３月上旬から	11 11 21 29 M3 M3 M5 U17 4･M3 4･M5 11･M5 27･11 21･27 21･49 27･40 27・M3 28･43 31･M1 40･43 40･45 49･40 40･M1 40･M3 40･M3 40･M5 40･M5	アミスター２０フロアブル メジャーフロアブル ランマンフロアブル フロンサイドＳＣ ジマンダイセン水和剤 ペンコゼブ水和剤 ダコニール１０００ ピシロックフロアブル (混)リドミルゴールドＭＺ (混)フォリオゴールド (混)アミスターオプティフロアブル (混)ホライズンドライフロアブル (混)ダイナモ顆粒水和剤 (混)ゾーベックエンテクタＳＥ (混)ベトファイター顆粒水和剤 (混)カーゼートＰＺ水和剤 (混)リライアブルフロアブル (混)ナレート水和剤 (混)ジャストフィットフロアブル (混)ザンプロＤＭフロアブル (混)オロンディスウルトラＳＣ (混)フェスティバルＣ水和剤 (混)カンパネラ水和剤 (混)ベネセット水和剤 (混)プロポーズ顆粒水和剤 (混)カーニバル水和剤
4 白色疫病 *Phytophthora porri*	1.発生圃場での育苗を避ける。 2.発生圃場での連作を避ける。 3.排水を良好にする。 4.葉に異常を認める苗や生育不良の苗は選別して、植え込まない。	発病初期から	29 M3 M5 4･M3 4･M5 11･7 27･11 27･40 27･M3 43･40 45･40 40･M1 40･M3 40･M5 40･M5 U17	フロンサイドＳＣ ジマンダイセン水和剤 ダコニール１０００ (混)リドミルゴールドＭＺ (混)フォリオゴールド (混)シグナムＷＤＧ (混)ホライズンドライフロアブル (混)ベトファイター顆粒水和剤 (混)カーゼートＰＺ水和剤 (混)ジャストフィットフロアブル (混)ザンプロＤＭフロアブル (混)フェスティバルＣ水和剤 (混)カンパネラ水和剤 (混)プロポーズ顆粒水和剤 (混)カーニバル水和剤 ピシロックフロアブル
5 黒斑病 *Alternaria porri* *Alternaria* sp.	1.梅雨期と秋期、特に生育後期の肥切れのときに発病が多いので、適切な施肥をする。 2.被害残さは翌年の発生源となるので埋める。	発病初期から	2 M3 M3	ロブラール水和剤 ジマンダイセン水和剤 ペンコゼブ水和剤

たまねぎ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
6 灰色腐敗病 *Botrytis allii* *B.aclada*	1.２月から４月にかけて圃場の発病株を抜き取り、埋める。 2.収穫したものは早く出荷する。 3.風通しが良好で、乾燥した場所に仮貯蔵し、納屋やタマネギ小屋に積み上げない。 4.貯蔵場所、冷蔵倉庫、加工場等は清潔にし、屑球塵芥は埋める。 5.腐敗球、圃場の残球、茎葉は埋没し、空地等に捨てない。 6.多肥栽培や遅い時期の追肥を避ける。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.苗床末期と４～５月の多雨期に発生が多い。 2.採種栽培では、特に注意して防除する。	定植直前	1	トップジンＭ水和剤
			11	ファンタジスタ顆粒水和剤
			12	セイビアーフロアブル２０
		苗床末期と 移植直前	1	トップジンＭ水和剤
			1	トップジンＭゾル
		１月中旬と ２月中旬	1	ベンレート水和剤
			2	ロブラール水和剤
			2	スミレックス水和剤
			3	オンリーワンフロアブル
			7	カンタスドライフロアブル
			7	アフェットフロアブル
			7	パレード２０フロアブル
			7	カナメフロアブル
			11	アミスター２０フロアブル
			11	メジャーフロアブル
			11	スクレアフロアブル
			11	ファンタジスタ顆粒水和剤
			12	セイビアーフロアブル２０
			M7	ベルクート水和剤
			M7	ベルクートフロアブル
			52	アイーナ２０フロアブル
			10･1	（混）ゲッター水和剤
			25･1	（混）アタッキン水和剤
			2･M1	（混）スクレタン水和剤
			11･7	（混）シグナムＷＤＧ
			7･M5	（混）ベジセイバー
7 灰色かび病 *Botrytis cinerea*	1.収穫残さは埋没させる。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.苗床末期と４～５月の多雨期に発生が多い。 2.採種栽培では、特に注意して防除する。	苗床末期と 移植直前	2	ロブラール水和剤
			2	スミレックス水和剤
		１月中旬と ２月中旬	3	オンリーワンフロアブル
			7	カンタスドライフロアブル
			7	アフェットフロアブル
			7	パレード２０フロアブル
			7	カナメフロアブル
			11	アミスター２０フロアブル
			11	メジャーフロアブル
			11	スクレアフロアブル
			11	ファンタジスタ顆粒水和剤
			12	セイビアーフロアブル２０
			M5	ダコニール１０００
			M7	ベルクート水和剤
			M7	ベルクートフロアブル
			1･10	（混）ニマイバー水和剤
			2･10	（混）スミブレンド水和剤
			2･M1	（混）スクレタン水和剤
			4･M5	（混）フォリオゴールド
			11･7	（混）シグナムＷＤＧ
			7･M5	（混）ベジセイバー
			11･M5	(混)アミスターオプティフロアブル
			40･M5	（混）カーニバル水和剤
8 黒かび病 *Aspergillus niger*	1.収穫は早めに行い、適期より遅れないようにする。			
9 軟腐病 *Pectobacterium carotovorum*	1.連作を避ける。 2.排水を良好にする。 3.多肥栽培を避ける。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.本病対象に防除を実施しているところでは、腐敗病の発生が少ない。	発病前から	25	アグレプト水和剤
			25	アグレプト液剤
			31	スターナ水和剤
			M1	コサイド３０００
			M1	キノンドー水和剤４０
			M1	クミガードＳＣ
			1･25	（混）アタッキン水和剤
			2･M1	（混）スクレタン水和剤
			24･31	（混）カセット水和剤
			24･U18	（混）カスミンバリダシン液剤
			24･M1	（混）カスミンボルドー
			24･M1	（混）カッパーシン水和剤
			25･31	（混）マテリーナ水和剤
			25･41	(混)アグリマイシン－１００
			25･M1	（混）銅ストマイ水和剤
			31･M1	（混）ナレート水和剤
			M1･M1	（混）キンセット水和剤
			M1･M2	（混）園芸ボルドー
			25･41･M1	（混）バクテサイド水和剤

たまねぎ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
10 腐敗病 *Pseudomonas marginalis* pv. *marginalis* *P. allii* *P. kitaguniensis* *P. vilidiflava* *Burkholderia ambifaria* *B. cenocepacia* *B. cepacia* *B. pyrrocinia* *Erwinia rhapontici* *E. persicina*	1. 被害残さは除去する。 2. 連作を避ける。 3. 排水を良好にする。	発病初期	U18	バリダシン液剤5
11 小菌核病 *Ciborinia allii*	1. 残り苗を放置すると本病の発生源になりやすいので除去する。 2. 被害残さは除去する。 3. 連作を避ける。 4. 排水を良好にする。	発病前から	7 11 11	カナメフロアブル スクレアフロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤
12 アブラムシ類 （萎縮病 ＳＹＳＶ）	1. 無病苗を植付ける。 2. 発病苗は見つけしだい取り除く。	発生初期	1B	マラソン乳剤
13 ネギアザミウマ （スリップス） （タマネギえそ条斑病 ＩＹＳＶ）	1. 畦畔雑草を除去する。 2. 育苗床では、飛び込み軽減のため、防虫ネット（１㎜目合以下）で被覆する。	定植前日～定植時	4A 4A	アドマイヤー顆粒水和剤 アドマイヤーフロアブル
		発生初期	1B 1B 1B 1B 1B 3A 3A 3A 3A 3A 3A 4A 4A 6 9B 14 28 34 34 3A･15 -･5	スミチオン乳剤 マラソン乳剤 トクチオン乳剤 オルトラン水和剤 ジェイエース水溶剤 アディオン乳剤 アグロスリン乳剤 サイハロン乳剤 スカウト乳剤 マブリック水和剤20 マブリックEW ベストガード水溶剤 アドマイヤー顆粒水和剤 アグリメック コルト顆粒水和剤 リーフガード顆粒水和剤 ベネビアOD ファインセーブフロアブル アベンジャーフロアブル （混）ビリーブ水和剤 （混）ダブルシューターＳＥ
14 ハモグリバエ類	1. 育苗床では、飛び込み軽減のため、防虫ネット（１㎜目合以下）で被覆する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1. アグロスリン乳剤、アグリメックは、ネギハモグリバエに登録がある。	育苗期 定植後１～1.5か月	1B 3A 6 14 30 -･5	マラソン乳剤 アグロスリン乳剤 アグリメック パダンＳＧ水溶剤 グレーシア乳剤 （混）ダブルシューターＳＥ
15 シロイチモジヨトウ	1. 飛び込み軽減のため、防虫ネット（４㎜目合以下）で被覆する。	発生初期	5 -･5	ディアナＳＣ （混）ダブルシューターＳＥ
16 タネバエ	1. 植え傷みを少なくする。 2. 被害株を抜き取る。	播種時または定植時	1B	ダイアジノン粒剤5
		発生初期	1B	ダイアジノン粒剤5
17 ネダニ	1. 適正な施肥を行う。 2. 酸性土壌を矯正する。			

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する